

上郷開発についてお尋ねします。

- 1 東急建設は、横浜市栄区に 4 年前上郷開発計画を申請した。毎年ホテルが大量に発生している湿地を埋めてショッピングセンターや医療モール、住宅などを作る計画である。栄区、港南区、金沢区も人口減少が始まっており、埋立て工事が完成する平成 35 年ごろには、住宅需要が見込めなくなると予測される。同様の開発で、京浜急行は三崎口から 0.5km の北川湿地を埋め立てた段階で、宅地造成を凍結した。上郷開発も、自然を破壊しただけという汚名を着せられる前に、湿地を埋める開発を止めた方が良いのではないか。

また、宅地造成後の土地は全て地権者還元及び売却で東急建設の土地ではなくなるが、横浜市に提案したまちづくりを責任もって行えるのか。

(東急回答)

2015 年に横浜市としてはやるんだという流れの中で 2018 年に線引き都市計画決定が告示された。東急建設は、横浜市が都市計画を決定したので計画を進めていく予定。

まちづくりは、東急として使う部分、地権者、還元地の地権者とワークショップをここ数ヶ月立ち上げている。できれば周辺自治会の理解を得ながら進める。

- 2 上郷開発の、埋め立て工事申請はいつ行う予定か。

また、宅地造成の完成時期はいつの予定か？

(東急回答)

今申請準備中である。

- 3 埋め立て後、ショッピングセンターと医療モール用地の売り先は決定しているのか。決定しているならどこか？

(東急回答)

商業施設、医療モールの誘致先はまだ決定していない

- 4 資金調達について、三菱東京 UFJ、三井住友信託、みずほ、三菱 UFJ 信託、三井住友、横浜の 6 行でのシンジケーション方式、コミットメントライン契約での調達をされていることについて、アレンジャーはどこか？

(東急回答)

三菱 UFJ 銀行である。

- 5 第 2 号議案 労働者派遣事業から撤退について伺いたい。

(東急回答)

労働者派遣事業撤退は、2004 年以来実績がないので撤退した。

- 6 HP の環境配慮という項目をみると、上郷開発は HEP によって環境アセスがなされたが、課題が明確になったとある。

どのような課題がありその解決方法は示されているのか。

(東急回答)

生息域調査を指標化、生息域の喪失、アセスメントでは一部ホタル喪失など、代償により生息域を作る。

- 7 東急建設は、上郷開発で山を崩し湿地を埋める事は「SDGs の目標 15: 森林・湿地・生態系の保全、回復」に反するが、SDGs をどう考えるか？

(東急回答)

SDGs 直接関係ないが生物多様性だけを捕らえれば、人間への影響を少なくしていく。生物多様性の影響を減らす回復することを行う、埋め土について開発協議はこれからなので協議によって解決していく。

- 8 地元で 40 年間生物調査を行っている円海山域自然調査会が、開発区域の自然調査を希望しているが、現地の返事はなく一部で妨害もみられる。会社として、自然調査に協力するのかもしれないのか伺いたい。

(東急回答)

自然調査依頼は、把握していないので現地に確認して回答する
調査妨害については、維持管理防犯防災上、夜間なので注意した

- 9 10 数メートルの谷、湿地を埋めてしまう計画は埋め立てやの東急という名前だけが残る。今なら、まだ間に合う。世界の流れに乗って東急の森・東急の谷戸として今の地形を活かしながら活用していく計画に変更してはいかがか。

(東急回答)

現在のところ、計画を変更するつもりはない